



# つゞじヶ丘だより東京

## つゞじヶ丘同窓会東京支部会報



発行 函館西高等学校つゞじヶ丘同窓会東京支部 会長 佐々木 太郎  
 〒136-0072 東京都江東区大島 8-41-15-215 TEL&FAX 03-5609-9881  
 メールアドレス jimuj@td-tokyo.com  
 印刷所 三美印刷株式会社 題字 細見 紀子(14回生)

### <第18回総会・懇親会特集号>

#### 新生「北海道函館西 高等学校」開校にむけて

北海道函館西高等学校校長  
佐藤 裕之



つゞじヶ丘同窓会東京支部の皆様には、本校の教育活動に対して多大なるご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

生徒達は、今日も変わらず、八幡坂の石畳を登り、北海道庁立函館高等女学校の石碑や皇太子殿下行啓記念碑が並ぶ校門を抜け、校地内の坂を上がり、校訓「志高く」が刻まれたモニュメントに見守られる生徒玄関をくぐり、元気に登校しております。

本年3月1日には、現北海道函館西高等学校最後の第69回卒業証書授与式が挙行され、160名の生徒が巣立って行きました。明治42年の北海道庁立函館高等女学校の卒業生から数えて、合計で三万四千四百九十二名となりました。

昨年度は、昭和25年に函館西高等学校と改称されて以降、最も生徒数の少ない状況でしたが、生徒は学習

部活動、生徒会活動にと真摯に取り組み、国公立大学7名合格をはじめ、私立大学や高等看護学校、就職等とそれぞれの希望の進路へと進んでいきました。部活動においては、多くの部局が全道大会へ進出したほか、陸上部、放送局、文芸部、スキー(個人)の4つが全国大会へとコマを進めるなど、大いに活躍したところです。

また、長年取り組んできた「キャリア教育」の取組が、「地域と連携し、働くことや社会貢献の意義等の理解を促すキャリア教育や各種ボランティア活動等を通じた生徒の社会性や自律性の育成」という点で評価され、「文部科学大臣優秀教職員表彰」を受賞し、本年1月に東京大学安田講堂にて表彰を受けるなど、新設校開校に向け、大いに励みになったものと考えております。

さて、4月、北海道函館稜北高等学校と統合された4代目の学校となる、新生「北海道函館西高等学校」がスタートを切りました。

双つの線 結び始まる  
弧を描く 巴の港

この坂から 冒険を始めよう  
大切な大切な年月を 胸に抱いて

風に乗る 語り合おう  
瞳は深くまっすぐに  
ともに広くとともに広く  
海を見よう

これは、全国大会出場を決めた本校文芸部の生徒と函館稜北高校有志の生徒が力を合わせて作成した新しい校歌の3番の歌詞です。両校統合、そして、新しく導入する「探究」というプログラムの象徴となり得るよう、いろいろなアイデアを出し合い、何度も推敲を重ね、専門家のアドバイスをいただき、完成へと至りました。

新しくなった校歌、校章、制服のもと、現在ご活躍のつゞじヶ丘同窓会東京支部の皆様が培ってこられた伝統を大切にしながら、歴史と文化が薫る西部地区にある第4代目の高等学校として、この恵まれた環境を活かし、故郷に誇りを持ち世界に羽ばたく若者、地域の次代を担う若者を育むことを目標に、一層魅力的な学校づくりを進めてまいります。

八幡坂や日和坂を登って通学した共通の思い出は、輝きを増しながら続いていくものと考えます。

今後の卒業生にとっても、同窓の諸先輩方のご支援や繋がりは大切な財産であることに変わりありません。皆様の温かいご支援を新たな時代の卒業生や在校生にも引き継ぎ賜りますよう、ぜひともお願い申し上げますとともに、つゞじヶ丘同窓会東京支部がますます発展されますことを心よりご祈念申し上げます。

平成と私と

つゞじヶ丘同窓会

東京支部会長

佐々木太郎(14回生)



平成元年に私は43歳、平成が終わった今年73歳である。つまり「平成」と私の壮年時代が完全に重なっている。家を建て、子供たちが巣立ち、孫ができて、会社を退職し、第2の職場も終わりで完全にタイアして満8年、あつという間の30年間だった。

30年前、新年号として「平成」が決まった時のことをよく覚えている。午後3時頃だったか、小淵官房長官が「平成」と書いた紙を手にしてテレビの前で発表した。その瞬間を会社でじりじりしながら待っていたのだ。何故なら元号が決まらないと作業をはじめられないからだ。  
昭和64年1月7日土曜日の未明ラジオのスイッチを入れると臨時ニュースのような実況が耳に入ってきた。竹下首相が官邸に入りまして、というような内容だった。寝床にラジオを置いて「ラジオ深夜便」を聴きながら寝るのが当時の習慣だったが、いつもと様子が違うと聞

き入っていると、間もなく天皇陛下が崩御されたことを知った。  
黒っぽい背広に黒いネクタイで早朝の横須賀線に乗って大手町の本社に出勤した。冬休みの週末とあって、車内にはスキーに行く人や行楽客たちが乗っていたが、僕と同じように黒いネクタイの人も何人かいた。

あわてて休日出勤したのは、月曜日に市外電話料金の値下げ申請とプレス発表をする予定で、資料作りを金曜日に終えていたからだだった。私はその2年前、国鉄が中心になり設立した新電電の「日本テレコム」に転籍、企画部で郵政省やNTTとの渉外窓口と広報を担当していた。規制緩和で電気通信事業が自由化され、第2電電などとともに割安な市外電話サービスを始めたところ、当時NTTの東京大坂間の市外電話料金は3分間400円という高い水準だったため、安値の新電電は急速に顧客を増やし、もうかり過ぎて初めての値下げを行うこととなっていた。

ところが、郵政省(当時)に提出する値下げ申請資料、広報発表資料とも文書の日付が昭和64年1月9日となっていた。特

に申請資料には値下げの根拠となる将来



の需要予測をはじめ、分厚い資料のほとんどのページに「昭和」という文字が書かれていたので、作り替えなければならなかったのだ。ただ、当時資料はワープロで作られており、一括変換で直すことができたので何とか月曜日の値下げ申請とプレス発表に間に合わせる事ができた。もう少し前の時代だったら、和文タイピストを呼び出して徹夜で全面書き直しをしなければならなかったところだった。

私にとって、つゞじヶ丘同窓会も「平成時代と完全に同期している。平成の初めころから支部の総会・懇親会に出席しはじめ、平成9年の第7回総会のときは満50歳の我々14回生が総会の実行幹事を仰せつかった。準備のための会合に何回も出席し、総会には地方からの出席者も多く、泊りがけの同期会を九段会館で行い、60名余りが宿泊した。

平成21年の第13回総会の後学年幹事になり、事務局の会議にも出るようになった。そして平成最後の6年間を東京支部会長を勤めたが、周りを見回すと函館の他高校の同窓会の在京支部のトップははるかに若返ってしまったのに愕然とした。

そこで今回、13回生から17回生が中心の執行部の世代交代を進めることとし、18回生以下が中心になって同窓会支部活動をしてもらうことになりました。新しい「令和」時代の執行体制のサポートをよろしく

くお願いいたします。



新会長挨拶

折田信一(18回生)



佐々木会長の後を受けて、2月の学年幹事会で選出されました。この総会・懇親会後に東京支部の会長に就任する予定です。  
高女と西高の同窓会が合併して、第18回になるこの総会を一つの区切り「令和の時代」を迎え、世代交代を進めようということです。新谷会長が30年近くおやりになり、東京支部の基盤を作られ、佐々木会長が引継いで6年、事務局体制及び会報編集体制を強化してきました。その後を汚さないように、新しい役員・学年幹事、事務局のメンバーと協力しながら同窓会の発展に尽力してまいりたいと思います。

皆さんのご支援を心からお願ひ申し上げます。



# 第18回 つゝじヶ丘同窓会東京支部総会・懇親会式次第

開催日 2019年5月11日(土曜日)

時間 12時00分～15時00分

場所 椿山荘 4F 雅

司会 常任幹事 野口 卓史(27)

## —総会—

- ・開会宣言
- ・物故者黙祷
- ・活動報告
- ・新役員紹介

副会長 高橋 順吉(17)

司会

学年幹事長 竹澤 秀明(17)

学年幹事長 竹澤 秀明(17)

## —懇親会—

- ・会長挨拶
- ・来賓紹介
- ・来賓挨拶

会長 佐々木 太郎(14)

司会

函館西高等学校

校長 佐藤 裕之 様

つゝじヶ丘同窓会本部

会長 中山 浩一 様(9)

## <歓談>

- ・アトラクション

歌手

島 あきの (堂下 元西高校長のお嬢さん)

<北島三郎プロデュース 七飯町 出身>

- ・函館港踊り

全員

- ・校歌斉唱(高女・西高)

歌唱指導 根本 修(22)

- ・応援歌

東京支部応援団有志

- ・閉会挨拶

学年幹事長 竹澤 秀明(17)

北海道庁立函館高等学校校歌

一、巴の港朝夕に

出で入る船の帆柱の  
しげき学のかずかずは  
世の海渡るみおつくし  
教のまにまに艱苦にたえて  
真心厚き女子(おみな)とならん

二、春は湯の川リリーつみ

秋は大沼舟遊び  
冬は四方山白雪の  
玉もてかざる銀世界  
自然の靈氣を我身にうけて  
清き操の女子(おみな)とならん



北海道函館西高等学校校歌

一、春は弥生の草萌えて

つづじヶ丘に花咲けば  
流るる空の雲は淡し  
向学の友群れてここに  
集えり ああ君 われら若く  
自由の鐘の音 窓に鳴れば  
情操をたもちて 共に立てよ

二、北の港の丘のもと

巴の海に新潮の  
岬をめぐる声はひびく  
向学の友群れてここに  
集えり ああ君 われら若く  
希望は生まれて 胸にみてば  
大志をいだきて 共に立てよ

三、秋は臥牛の松の風

栄枯の夢を歌えども  
北斗の影は天にかかる  
向学の友群れてここに  
集えり ああ君 われら若く  
ひとみは冴えたり いよいよ深く  
真理を求めて 共に立てよ

北海道函館西高等学校応援歌 No. 2

一、臥牛山麓 風荒く

怒濤逆巻き 狂うとも  
たゆまぬ健児が 血と汗の  
日頃の力を示すは今  
おお おお 我等が選手  
我等が選手 今ぞいけ

二、つづじヶ丘の西高に

試練重ねし 幾星霜  
母校の名誉は 双肩にあり  
勝利は常に 我にあり  
おお おお 我等が選手  
我等が選手 今ぞいけ



# 第18回総会・懇親会 出席者一覽

## 【来賓】(敬称略)

函館西高等学校校長 佐藤 裕之

つゞじヶ丘同窓会

本部部长 中山 浩二(9回生)

関西支部会長 中村 浩 9回生

札幌支部会長 浅野 元広(18回生)

恩師 井上 昌博・清水 静子

白楊ヶ丘同窓会東京支部

副支部長 松永 久

関東青雲同窓会

会長 横井 透

副会長 加茂 千恵子

東京函商同窓会

会長 道下 佳拓

副会長 吉原 純一

函工同窓会関東支部

副支部長 大水 和彦

函館ラ・サール学園同窓会東京支部

支部長 林 完自

事務局長 多田 哲郎

## 【会 員】(同回生はクラス順)

\*4月15日現在

高女35 森 アイ子

高女36 羽賀 桃枝(同伴・羽賀一枝)

高女 37 鳥本 玲子、染木 トシ、田 槇 諒子

高女 38 小西 弥生

高女 41 小林 昌江、丹波 京子

女高 1 鈴木 榮子

女高 2 荒木 和子、中村 トク子、成田 慶子、高木 清子(旧姓服部)、相馬 佳代、金丸 美佐子、海老沢 曉子

西高 1 山木 和子、茂木 誠子、新谷 義克、松本 洋子

西高 2 廣瀬 和也、松田 守正

西高 3 柴田 祐治、高橋 幸夫、徳田 安正

西高 4 高橋 秀演、木寺 章、郷内 繁、柴田 哲夫

西高 5 菅原 洋一、八木 浩子、関谷 幸子、塚本 睦子、長澤 慎二、臼井 佳代、佐藤 光子

西高 6 笠川 雅彦、時田 八郎、東郷 豊、奥村 峻之

西高 7 土井 功

西高 8 吉木 泰子、米田 紀子

西高 9 大矢 紀夫、本田 啓、小島 紀美子、森 英爾、井藤 敏枝、北川 佳子

西高 10 高見 康夫、福井 達郎、上野 尚春、小嶋 俊昭、村田 千佐子、松本 信男

西高 11 岸田 信高、深江 雅子、若林 英毅、新井 眞沙子、石橋 洋嗣

西高 12 外岡 勝彦、大塚 育夫、伊藤 龍一、渋川 雅洋

西高 13 木村 禱夫、金谷 忠勝、根本 弘子、高野 教子、長津 俊、堀口 六壽、森 加代子、広田 悦子、三村 寿雄、小玉 正義、坂本 幹男、炭田 美規子、齊藤 勝美、平山 夕二、森越 勝、中山 悦子、花木 瞳、佐藤 美紗子

西高 14 山崎 陽子、佐々木 太郎、村本 茂子、木津 則子、堀内 洋子、竹森 利則、稲田 一郎、洞田 雅子、若林 郁雄、田端 冴子、小坂 俊昭、山中 幸弘、釜薙 勝宏、原田 吉隆、吉見 芳彦、細見 紀子、中村 宏子、滝 一郎、木村 隆夫

西高 15 猪しま、滝口 清、佐々木 次郎

西高 16 大西 裕子、後藤 優子、池永 敏信、北見 文雄、齊藤 光子、藪 道子、櫻田 俊行、工藤 純一、佐藤 厚子、高橋 信一、岩山 真一、高橋 俊和、高橋 順吉、谷杉 栄策、市野 修一、竹澤 秀明、岩片 文子、鴻池 佳衣子、林 道子、境 和子

西高 17 折田 信一、中川 隆、佐々木 佳子、藤井 正昭、竹田 光男、馬場 政平、松田 邦男、高宮 登美、黒澤 潤一、菊地 謙次、茅原 青子、西田 吉克、花田 貴宣、吉田 守作、吉田 厚、三浦 正樹、安原 秀樹、水上 幸江、野

西高 18 木村 禱夫、金谷 忠勝、根本 弘子、高野 教子、長津 俊、堀口 六壽、森 加代子、広田 悦子、三村 寿雄、小玉 正義、坂本 幹男、炭田 美規子、齊藤 勝美、平山 夕二、森越 勝、中山 悦子、花木 瞳、佐藤 美紗子

西高 19 山崎 陽子、佐々木 太郎、村本 茂子、木津 則子、堀内 洋子、竹森 利則、稲田 一郎、洞田 雅子、若林 郁雄、田端 冴子、小坂 俊昭、山中 幸弘、釜薙 勝宏、原田 吉隆、吉見 芳彦、細見 紀子、中村 宏子、滝 一郎、木村 隆夫

西高 20 猪しま、滝口 清、佐々木 次郎

西高 21 大西 裕子、後藤 優子、池永 敏信、北見 文雄、齊藤 光子、藪 道子、櫻田 俊行、工藤 純一、佐藤 厚子、高橋 信一、岩山 真一、高橋 俊和、高橋 順吉、谷杉 栄策、市野 修一、竹澤 秀明、岩片 文子、鴻池 佳衣子、林 道子、境 和子

西高 22 折田 信一、中川 隆、佐々木 佳子、藤井 正昭、竹田 光男、馬場 政平、松田 邦男、高宮 登美、黒澤 潤一、菊地 謙次、茅原 青子、西田 吉克、花田 貴宣、吉田 守作、吉田 厚、三浦 正樹、安原 秀樹、水上 幸江、野

西高 23 川瀬 俊吉、原島 邦子、石橋 洋美、齋藤 映二、藤谷 敏雄、野村 光江、渡邊 千里、種井 三喜男

西高 24 片桐 信行、藤川 巖(同伴・三部一枝)、高村 亨、井田 幸子、二階堂 功、矢澤 弥生、平岡 みゆき、牛田 欣也、松田 陽一、山口 千香子、小熊 誠、若松 義一、東口 誠、青木 保、平智 則

西高 25 根本 修、大谷 雅彦

西高 26 姥久手 崇、小林 多美、藤木 英博、佐藤 好正、鈴木 直人、皆川 敦子、佐々木 雄治、野口 孝子、池田 一民、岸本 祐逸、京極 信良、関口 信也、福田 康典

西高 27 小林 正昭

西高 28 野口 卓史

西高 29 熊谷 真弓、三上 昭子、桂 本 真哉

西高 30 中川 喜久則

西高 31 長谷川 好広、佐々木 雅子、山越 准司、高田 禎哉、本間 貴之

西高 32 菅原 博之、木村 雅人、菅 提寺 孝幸、籠 優

西高 33 田中 優行

西高 42

田中 優行

【出席者数 来賓 14名、会員 206、同伴者 2名、総計 222名】

## 返信葉書からのメッセージ

\*4月12日までに欠席のご連絡を頂いた方々のメッセージです。

石垣 涼子(高女34) 幹事の皆様ご苦勞様です。遠出が出来なくなり失礼致します。

清水 蔦子(高女35) 東京近くで元気な方がいたら教えて頂きたいです。1年生、2年生の時はイ組、3・4年はホ組です。お返事頂けましたら会費は後日お送りいたします。

森谷 セツ(高女35) 85歳まで開業医院、その後も年齢相応に主婦業専念しています。当日都合つかず欠席します。皆様によく申し上げて下さい。

小倉 フサ(高女36) 皆様のますますのご発展をお祈りいたします。会報は楽しみにして居ります。

竹田 忠(高女36) 何時もお心にかけて頂きまことに申し訳ありません。寄る年波で92歳になり身体を上手に運ぶ事が出来ませんので欠席させて頂いていただきます。

多和田 誠子(高女37) つゝじヶ丘同窓会のお知らせ有難うございました。私も90歳となりました。遠い場所は大変となりました。ご盛会をお祈りしています。

庄司 ヨシ(高女37) ご盛会をお祈りいたしております。

大谷 泰子(高女38) 高女生として4年間、教師として2年間のつゝじヶ丘の日々は、私にとつての宝物です。今後の発展もお祈りしております。

大河原 洋子(高女38) 30年8月に埼玉県より函館市に引越ししました。

佐々木 トヨ子(高女39) 専攻科までの6年間公会堂の前を通りあの坂を登りました。同期は今年90歳。鈴木 八重子(高女39) 病弱の為欠席します。

吉本 芳子(高女2) 昨年病気で入院していましたが回復して元気になりました。皆様どうぞお元気で又お会いしたいですね。

太田 良子(西高1) いつもながらの御連絡ありがとうございます。1932年生まれ、87歳になります。だんだん遠出は無理?近隣にうもれ楽しく生活して幹事の皆様いつもご苦勞様です。感謝!!しております。

野村 修治(1) 2月から入院です。田中 直子(1) 年なりに元気にしております。最後にもう一度函館に行きたいと夢をもっているのです。

北島 松太郎(2) 体調があまり良くなく欠席させて頂きます。

畑中 誠治(2) 元気です。皆様方のご多幸をお祈り致しております。

小滝 裕子(2) いつもお世話いただきありがとうございます。今後もよろしく願いたします。

増谷 純雄(2) 八十路の山道を登



つて今年の夏は七合目を迎えることになる感慨無量である。

納代 鉄也(2) 残念乍ら出席出来ませんが、今後のますますのご発展をお祈りしています。

菅原 郁江(2) 突然の男女共学、美術部と一緒に菅原(1)と絵を描いていた頃を思い出します。

小島 将(3) 毎年ご案内いただき有難うございます。残念ながら出席できませんが関係各位の方々の一層のご清栄をお祈りします。

菊池 不二子(3) いつもご連絡ありがとうございます。なつかしい函館とのつながりが嬉しいです。ご盛会を。

五十嵐 譲二(3) 前以て予定があり、同期の方にヨロシク!!幹事様

ご苦勞様です。望月 晴夫(3) 元気で居ります。益々の盛況を祈ります。

榎本 武彦(4) 体調不良の為欠席致します。ご盛会を祈念致します。梅津 貢三郎(4) なんとか元気でおります。

井上 真澄(4) 盛会を! 外村 弘臣(4) ご出席の皆様によりお伝えください。

宮崎 繁(4) いよいよ港の見える「函館西高」が無くなり残念です。麻生 正枝(4) S11・2・2生

S29卒業 同期会のご案内のご連絡を下さい。峯岸 四四子(5) 御案内ありがとうございます。体調悪く中々出席出来ません。仲間が出席するので様子を伺うのを楽しみにしています。

小林 幸子(5) 元気にコーラスに励んでいます。安藤 広司(5) 東京新宿生活40

年この度千葉市美浜区浜田の緑の多い地に転居いたしました。岡 宏(5) 人工透析をはじめ

るため体力的に今回は欠席させて頂き下さい。申し訳ありません。

町田 茂子(5) 11、12日は函館におり申し訳ありません。私はまだ品川区の幼稚園に通っております。

小埜寺 直巳(6) 高齢となり、会合は自重しています。ご盛会をお祈りします。

高橋 宏子(6) このところ体調が良くなり、今回も前日まで入院して

いたり…という具合で、出席できそ

うもないので。いつも、ご連絡していただき、ありがたく存じます。  
池田 昌江(6) 健康で日々茶道を教えております。

尾島 由紀(6) 新しい西高の出発を心からお祝い申し上げます。天災の多い昨今、各地の同窓生皆様の御無事と御健勝をお祈りいたします。  
酒井 迪(6) 西高の大発展を祈願します。

小谷 憲一(6) 体調不良の為すみません。

井村 司(7) 残念です。都合がつかません。

開 正夫(7) あいにく健康面に不安がありますので欠席させていただきます。

伊藤 セツ(7) 元気で市民運動、ボランティア、著作活動続けています。ネットで検索して見てください。在京7回生の集まりには出ています。

飯田 剛一(7) 西高入学後4ヶ月で上京し、その後洞爺丸事故が起こりました。そして都立両国高校に入学しました。何とか日々元気にすごしております。ご盛会を祈ります。

恩田 美智子(7) 昨年9月80歳になりました。毎日元気に新聞を読み車も運転しています。

梅津 善徳(7) 元気にしております。八十路は老々介護の世界ですが、その中に楽しみを見い出しております。皆様お元気で。

利波 嘉弘(8) 今の時代80近いめ住所はひかえさせて下さい。名簿のせないで下さい。

奥山 吉彦(9) 闘病中です。盛会を祈っております。

三上 和彦(9) 5月11日は新宿Jazz祭りのイベントに出演しており残念ながら…出席出来ません。

中村 紀之(9) 体調が良くないです。

徳田 紀美子(9) 行事が3つも重なってしまい残念ながら欠席致します。

鶴田 典子(9) いつも出席できず申し訳ありません。

藤井 弘子(9) 何とかこの年齢迄生きてきましたが、遠く迄出かける自信はありません。皆様楽しい時間をお過ごし下さい。

倉橋 秀俊(10) 囲碁に、川柳句会に、手話サークルにそしてゴルフに、水泳に元気にしています。

徳永 豊吉(10) 皆様に会えなくて



残念です。  
澤田 修子(10) 病気治療中の為欠席します。

大林 裕子(10) 幹事さん御苦労様です。申し訳ありません。

亀谷 勝(11) 都合が悪く出席出来ませんが、盛会を祈っております。

上村 陽子(11) 丁度函館に帰省中です。楽しんで下さい。

高橋 洋子(11) いつもご連絡ありがとうございます。5月8日より函館に帰省する為、欠席致します。

皆様に宜しく。

橋本 清枝(11) 幹事様その他の方ご苦労様で御座います。心から感謝申し上げます。

中井 敬子(11) 御苦労様です。

永澤 泉次(11) 事務局の皆様ご苦労様です。

坪井 多恵子(11) 野良猫を保護し里親に譲渡する活動で忙しい毎日を送っております。

松田 勢彌子(11) 事務局の方々いつもお世話様です。有り難うございます。

安藤 優一(11) 腰部手術後のリハビリの為に出席できません。盛会を祈っております。

田村 宗夫(11) 仕事の都合で欠席します。皆様よろしく。

田口 道子(11) いつも御連絡頂き有難うございます。御手数おかけ致します。当日は都合がつかず欠席させていただきます。

神田 敢司(11) ほぼ毎日のウォーキング、ゴルフスイング、時々の旅

行などで健康維持に努めています。  
齋藤 ミツ子(12) 後期高齢者の仲間入り、地域活動で元気をもらっています。ご盛会をお祈りいたします。

鈴木 隆昌(12) ご出席皆様のご多幸を祈り致します。

林 潤(12) 元気でやっております。

尾崎 和彦(12) お務め大変ありがとうございます。私は当日は別の用件がある為に出席できません。ご盛会をお祈りしております。年会費は3月13日振り込みました。

大森 直之(13) その後の同期会はどうでしょうか？

細田 涼子(13) 会報読むのが楽しみです。

佐々木 怜子(13) 何とか元気にしております。

石川 増子(13) 残念ですが仕事の為出席できません。昨年の同期会はとても楽しかったので、再び皆様と御会いする機会を楽しみにしています。

木谷 勝子(13) 義姉の看病のため欠席させていただきます。

山崎 和雄(13) 役員の皆様大変御苦労様です。つゞじヶ丘だよりを楽しみにしております。

佐々木 一博(14) クビにならず、まだ働いています！おそらく休めない。時給だけどね。二次会出席します。

加藤 秀勝(14) 今回都合悪く、欠席させていただきます。今は麻雀とスポーツジムで頭と体を鍛えています。

小島 光枝(14) 今回は欠席いたします。よろしくお願い致します。

岩川 孝夫(14) 幹事の皆さんご苦  
 労様です。加齢のせいでしょうか足  
 腰がすっかり弱くなり今は週3回  
 リハビリに通っています。最近わず  
 かですが杖を使って歩けるようにな  
 りました。同級生の皆さんはお元  
 気で懇親会をお楽しみ下さい。

大久保 一郎(16) 総会・懇親会のご  
 盛會を祈念しております。

渡辺 元(16) 小学校で算数教室  
 をやっています。

鈴木 祐子(16) 5月に函館に行く  
 予定です。3ヶ月に一度通ってま  
 すので、残念ですが参加できません。

夏井 秀夫(16) ご苦労様です。

平野 眞理子(16) いつも御案内有  
 難うございます。今回もまた用事が  
 有り出席することが出来ません。幹  
 事の皆様いろいろ大変ですね。

松岡 俊治(16) 役員の皆様御苦  
 労様です。唯一の趣味である旅の日程  
 と重なり参加が叶わず残念です。事  
 務局長先日はありがとうございました。

八重島 智子(16) ご連絡ありがと  
 うございました。

若松 築子(16) 残念ながら出席で  
 きません。役員の方々ご苦労様です。

山下 幸代(16) いつも連絡ありが  
 とうございます。他の用があります  
 ので、失礼させて頂きます。

土橋 陽子(16) 返送が遅れ申し訳  
 ありません。ご盛會となりますよう  
 お祈り申し上げます。

長屋 恵子(16) 母の介護の為欠席  
 致します。また出席出来ることを楽



しみにしております

榎 房子(17) 丁度、札幌での法事  
 とかち合った為、残念ですが出席出  
 来ません。

作田 芳夫(17) 元気にしておりま  
 す。

佐々木 進市(18) 都合により欠席  
 させていただきます。みなさま、お  
 元氣でお過ごし下さい。

河野 眞利子(18) 3月中旬、変形  
 性股関節症の手術があり残念です  
 が欠席させていただきます。

菅原 潔(18) いつも、御連絡あり  
 がとうございます。

増山 由美子(19) 体調を整えて、来  
 年こそは出席したいと思えます。こ  
 れ以上脳ミンが溶けないように、頑  
 張ります。

栗原 陽子(19) いつもお世話様で  
 す。今回は、法事など札幌に帰省す

るので欠席させて頂きます。

齋藤 善子(19) 既に予定があり申  
 し訳ありません。

中居 洋子(19) 仕事の為欠席しま  
 す。

北島 庸子(19) いつも御案内あり  
 がとうございます。

長尾 好子(19) 久しぶりに西高の  
 かいわいを歩きました。こんなすて  
 きな場所だったんだ！！当時はど  
 こを見て歩いていったのか？今にな  
 って思いました。

桜井 雅幸(20) 実家(乙部)で法事  
 があり帰省中です。応援団のみなさ  
 んがんばってください。

宮本 久仁子(20) お世話になって  
 おります。いつもごていねいにあり  
 がとうございます。

眞鍋 宗孝(20) 毎度のお誘いにあ  
 りがとうございます。通信楽しみに  
 しています。

財津 和子(20) 今年はぜひ参加を  
 と思っていたら突然の骨折で残念  
 です。20回生の皆さん連絡遅れてす  
 みません。幹事の方々ご苦労様です。

在田 満樹子(20) 母の納骨のため  
 帰省予定です。

加藤 貞子(20) 5月25日札幌でク  
 ラス会があり卒業以来の再会が実  
 現できそうです。

乙川 治美(20) 今回は4組担任だ  
 った井上先生も出席されるよう  
 ですが、残念です。

谷藤 尚之(20) 折田さんご案内あ  
 りがとうございます。土・日と試合  
 があり不参加です。

前出 法子(22) 人生100年時代 皆

様元氣で長生きしましょう！！。

吉田 直樹(22) 出席できなくて申  
 し訳御座いません。

西山 和子(23) 昨日、台北から帰国  
 いたしました。ご連絡遅くなりまし  
 て申し訳ございません。

茂木 信悦(24) 海外旅行の為、欠席  
 します。

菊池 浩行(24) 申し訳ありません  
 が、所用により欠席させて頂きます。

北野 裕子(24) 毎年「東京大沼会」  
 の方に出席しています。申し訳あり  
 ませんが、欠席させていただきます。  
 皆様に宜しくお伝え下さいませ。

川西 富士子(24) 親類が当日3泊  
 の予定で泊まりに来るので出席出  
 来ません。

近藤 志津子(24) いつもありがと  
 うございます。西高の名前が残って  
 本当によかったです。

三品 弘利(26) 土曜日は仕事の為  
 申し訳ありません。

川口 正廣(28) 新生校の発展を祈  
 念しております。

青松 志津子(28) 何時もご連絡頂  
 きありがとうございます。

館田 智恵美(33) 同期会やりたい  
 ですね。

草皆 紀子(38) 今年はお休みが取  
 れず、残念ながら欠席致します。ま  
 たの機会にぜひ。。。

梶山 香織(38) 8年ぶりの転勤で  
 バタバタしております。新しい母校  
 に注目したいと思えます。

## ◆ 投稿

波瀾万丈の軌跡 ③  
アフリカ・ケニアに生きて47年

岸田 信高(11回生)

70年代のアフリカでは社会主義の嵐が吹き荒れ、岸田氏は資本主義の国ケニアで人生を賭けることにした。

## 事務所設置を決断

72年の正月は怪しいものだった。幻のサファイアを手になさなかつた無念さになされ、夜も眠れぬ日が続いた。日本への帰国が何時になるかわからぬので、資金を得るために宝石の原石や航空券を売りさばくことにした。アメリカ人宝石業者に少々高値で原石を買い取ってもらい、インド航空の航空券も4割引の十数万円(当時、日本往復航空券は35万円以上)で売れるメドがあった。そこで、ケニアの鉱山師が集まるリバーロード近くに安宿を見つけ、事務所とすることにした。10畳近い部屋をカーテンで仕切り、ベッドと反対側の壁際には運転手アブダラのベッドを置き、宿の主人の好意で机と椅子3脚を入れてもらった。2〜3か月が過ぎた頃には、ケニア人鉱山師らに私の存在が口コミ

で伝わり、あちこちから様々な鉱物や宝石のサンプルが入手できるようになった。タンザニアほど種類は豊富ではないが、ケニアでも宝石採掘の可能性を秘めた情報が得られるようになってきた。

## ホタル石の鉱床探索

3月、大和コーポの相棒で大学の先輩でもある塩田氏が、私の身を案じてケニアにやってきた。彼が安宅産業に働きかけ、鉄鋼産業に欠かせないホタル石の新しい鉱床を探することにになった。おかげで、私はコンサル料として月2千ドルの契約を交わすことができた。大和コーポは3月をもって解散することにしたが、塩田氏が大和コーポの退職金20万円を私に託してくれたので、当面の活動資金には困らないで済む。

数日後、チャールズからマララに近いリフトバレー下部地帯で緑色のホタル石が発見されたという



アフリカ・サバンナの夕景

情報が入った。翌朝、マサイ族の案内人と発見場所に向けて出発した。

1日あれば往復できそうだが、念のため私は自分の食料を用意することにした。途中まで車で行き、アブダラをランドローバーに残し、私は万一を考えて用意した揚げパン数個を彼に渡した。急峻な獣道を昇り降り、歩き詰めで5時間。午後2時を過ぎ、昼食をとる習慣のないマサイ族だが、さすがに喉が渇き腹も減ってきたらしい。私が持参していたのは2個の揚げパンと水筒の水のみだ。

案内人が大木の穴に蜂蜜を見つけ、昼食代わりに彼らの大好物の蜂蜜を採ることになった。木の棒に枯草を巻き付け、松明の煙で蜂を追い払い、蜜を取り出すという。一人が木によじ登り、下から投げた松明を受け取り、煙でいぶしながら穴に手を突っ込んで蜜の塊をつかみ出す。なかなか見事な腕前だったが、蜂蜜を満喫した後は喉が渇く。たちまち私の水筒は空っぽになった。

2〜3時間歩いて、「あとのくらい」と聞くと、「ハパツ」の返事。このアフリカ人の「ハパツ」(すぐそこだよ)は信用できない。私は野宿を覚悟で水を探すことを提案する。さほど遠くない所に湧水がありそうだというので、二人を水の調達に出す。2時間後、彼らの瓢箪と私の水筒に満杯の水を汲んできた。皆元気になって歩き出したが、一向に目的地に着かない。途中、グリー

ン瑪瑙の原石がゴロゴロしている辺りでそれを拾いさらに行進する。夕暮れが迫り、野宿を覚悟する。私は前進を諦め、野獣を避けるために2か所に焚火を起し、私の寝床用に直径80cm程の穴を掘らせる。

アフリカの高地の冷え込みは厳しい。10℃以下に下がることもあるが、経験で日中の熱で地中は温められていることを知っていた。私はこっそり揚げパンを頬張り、やがてウトウトしてきたが、2〜3時間毎に目が覚め、その繰り返して朝を迎えた。明るくなってきた頃に出発し、2時間程でようやく目的地に到着。鉱床はVein(帯状)タイプの鉱脈で、幅30〜50cm、長さ1〜3mの美しい緑色のホタル石結晶群が数本南西方向に走っているが、一目で鉱山開発の対象にはならないと判断した。

今回の探査旅行は安宅産業の依頼があったので、サンプルなしで行ったのが間違っていたのか。が、近くに接触鉱体が見つかるという事もある。自らを慰めながら、帰路に着いた。足取りは重かったが、途中グリーン瑪瑙をさらに拾って、夕刻前にランドローバーに戻った。

翌朝ナイロビに戻ると、東洋綿花(商社)の所長から面会したいとの連絡が入っていた。ケニアの鉱物資源の状況を知りたいという。私はタンザニアでの調査歴はあるが、ケニアではまだ調査中だ。しかし、文献や概論であれば提出できるので、僅かな礼金で請け負うことにする。僅か

でもコンサル業として商売になる可能性が見えてきたので希望が湧いた。

### ガーネット鉱山の採掘

そこで、「アフリカ資源開発研究所」の会社登録と労働許可証の手続きを決めた。当時、ケニアの日本人の間で、私の存在は風変わりな鉱山師として話題になりつつあった。7月には、日本航空ナイロビ所長の小倉寛太郎氏(山崎豊子著「沈まぬ太陽」のモデル、サバンナクラブ創作者)の頼みで、東京多摩動物園獣医・増井光子氏のマウンテン・ゴリラ探訪旅行のガイド役を務める。わが愛車、中古のランドローバーでウガンダやタンザニアを400km、1か月以上に渡って走り回った。

こうした日本人の援助と親交のお陰で、10月には労働許可証があり、アフリカ資源開発研究所の登録も済ませられた。リバーロードの安宿からビルの一室に事務所を移し、ささやかながら会社の形態を整えた。とはいえ、自分のアパートを持つのは無理だったので、家主には内緒で事務所に寝泊まり。薄いマットに寝袋を敷き、その中に潜り込み、6時に起床、トイレの洗面所で体を洗い、澄まして7時には事務務を始める。当時、唯一の楽しみは一週間に一度だけ、ヒルトンホテルのバーで、冷たい2本のビールで喉を潤すこと。この時間が無上の幸福だった。吉報が無い込んだのは、この年も暮れようとする頃。タンザニア国境

近くのマクスンズルでロードライントガーネットを発見したというニュースと共に、モーセスが小袋に詰めたガーネットを持参した。ピンク色で貝殻状のガラス片のようなガーネットが大小100g近くあった。

採掘場所は、私に宝石王になってやるぞと決意させた、あのタンザニアの宝石王ジョージの鉱山の近くだ。早速、現地へ向かう。表土は赤土だが70〜80cm下部に石灰岩の岩盤と花崗岩の貫入が見られ、その時の高熱によってゆっくり冷えてガーネットが形成されたとみられる。相当量があるように思われ、私はモーセスに一週間後に戻ると告げ、ナイロビに戻って金策を考えることにした。

### ルビー鉱山の試掘・調査

73年の正月が明け、今年こそは幸運に恵まれそうな期待を抱いて、ガーネット鉱山に戻った。人夫を6人に増員し、本格的な試掘に取り組み。産出量は割と多いが、品質が問題だった。市場で好まれる赤色と薄いピンク系の石が多いことが判明したが、まだ輸出できるほどの体制が整っておらず、資金も不足。まずはチャールズを採掘権者に、開発研究所の名義で鉱山局に登録を済ませた。4月、丸紅商社の依頼でケニア、ウガンダの鉱山鉱物調査の案内役を1〜2か月間引き受けることにした。久しぶりに事務所に戻ると、ガーネット鉱山から10km南下し



インパラはアフリカ東部～南部に生息する草食動物。俊足で、跳躍は幅10m、高さ3mに達する。

た地でルビーが産出されたと報告があった。発見者は、またモーセスだ。幸い案内役で得た数千ドルの収入があったので、早速、探査・試掘用の道具を買い揃え、途中ガーネット鉱山に立ち寄ってから目的地へ。サバンナの強い日差しを遮ってくれるアカシアの根元に、3日間の予定でキャンプを張る。夕刻、ケニアとタンザニアの国境にそびえる山々に真紅の太陽が沈む頃、立派な角を備えたオスを先頭に数十頭のインパラの群れが目前を横切っていく。その彼方には数頭の親子連れの象が家路を急ぐかのように大地を踏みしめて行く。天地創造のパラダイスを思わせるような光景にしばし見とれた。

翌早朝より試掘を開始。調査の結果、当分は赤字経営を覚悟せねばなるまいが、透明度が高く色も美しいルビーなら1g前後のものが10個もあれば十分採算がとれるので、将来に夢を懸けることにした。一方、

ガーネット鉱山は産出量が多いが傷物が多く、良質の石は月に200g程度しかなく、厳しい経営が続いた。ルビー鉱山の鉱区申請のためにナイロビに戻ると、アントニオ猪木氏がTV番組制作のためにケニアを訪れていた。私の鉱山で撮影を行ない、300万円の資金援助を約束してくれた。

### 妻になる女性との出会い

さらに、三井物産所長からも、栄養学者・川島四郎博士が秘書と共に、アフリカの食物調査に訪れるので、案内役をと頼まれる。この秘書こそ、後に私の妻となる菊池袈裟である。

再び吉報が届く。北西ケニア・ポコット地域で、濃いピンク色の素晴らしいロードライトが産出したという。ルオ部族オデラ老人が事務所を持参したサンプルを見ると、タンザニアの宝石王ジョージの鉱山の石と同じタイプだった。ポコットは原始の民の住む地域であり、まだ調査不十分の土地だった。2日後、調査に出発し、ポコットの人夫、数人を雇って試掘することにし、川島博士に会うためにナイロビに戻った。その後、ポコット族との交流は、妻袈裟の栄養調査のフィールドとなり、娘瑠美の成長の地となり、私の人生の中でもすべてが素晴らしい数年間の体験となった。ここでの暮らしは、78年、NHK正月特別番組「海外に生きる日本人 わが友ポコット」のタイトルで放映された。



ナイロビはケニア共和国の首都で最大の都市。標高 1700m にあり1年を通じて気温は10度～25度で快適だ。

### 謀反、反乱、ケニアの正義は？

話を元に戻そう。73年10月中旬、モーセスが謀反の知らせを持ってきた。マネージャーのウィリアムと探鉱権者のチャールズが、私の立てたルビー鉱山の鉱区表示の看板を取り外し、自分たちの看板を立てたという。さらに、鉱山局にルビー鉱山は自分たちのものであると申請したという。私は信じられない思いだった。鉱区はすでにアフリカ資源開発研究所が登録済みである。

私は彼らと徹底的に争う覚悟を決めたが、ここはケニア、アフリカ人の国であり土地だ。外人の私の正義は通じにくい。鉱山局のチーフは、法的に鉱山はアフリカ資源開発研究所の所有であると主張してくれたが、彼らは資源開発大臣に直訴する行動に出た。政治的な混乱になる

と、外人である私にとっては不利。親しい日本人に、ケニアの有力者を紹介してもらい、彼が鉱山局長に相談してくれることになった。

悶々とした日々が続いているさなか、脚本家の頓宮慶蔵氏が私のドキュメンタリー映画を制作したいとケニアを訪れた。気晴らしを兼ねて、タンザニアのわが家(ケニアに移ってから保持していた)に案内し、語り合った。しかし、頓宮氏の急死によって、残念ながら映画化は実現せず、小説「キリマンジャロの涙」となって75年に出版された。

### 抱いてくれ！

ナイロビに戻ると、函館の実家から手紙が届いていた。祖母岸田ウメが半年以上、肺炎で入院を繰り返してきたが、これ以上の回復は見込めないと医師の判断があり、至急帰国せよとあった。私にとって、祖母は母親代わり、母は昭和19年中国で戦死した父親代わりだった。何としてでも帰国し、せめて最後は看病してやらねばと決心、なげなしの金で片道航空券を入手した。

函館到着の10日後、祖母は私に「抱いてくれ！」と声にならない声で言い、膝の上に抱いてやると、そのまま私の腕の中で息を引き取った。祖母は私の帰りを必死で待ち続けていたのだろう。葬儀を済ませ、一週間後に上京することとした。

※3回で完結の予定でしたが、長文になったため、次号完結編に続く。

### ◆箱館 函館 ちよびつと 昔むかし

### お冬と島崎藤村と函館網問 屋 秦家別荘「寿楽園」

函館在住 廣瀬菊枝 (16回生)

作家藤村の最初の夫人は函館の女性だった事はご存じでしょうか。私は全く知らずに40年以上前に貧乏旅で小諸懐古園を訪ねたとき、新設されたばかりの島崎藤村記念館で、「函館からお冬をめとる」の記事に釘付けとなりました。

「まだあげ初めし前髪の…」で始まる島崎藤村(明治5年1872～昭和18年1943)の「初恋」。何でこんな山国へ？浅間山の火山灰地、失礼ながら当時は寒村でありました。函館に帰り、「お冬さん」を知りたくなり調査開始、網問屋秦家の事を知りました。

明治11年、度重なる大火により東本願寺別院の避難所に身を寄せていた秦家。その避難所でお冬さん(冬子)は秦家三女として産声を上げたのです。毎年のように大火に見舞われた函館。開拓使と政財界が防火帯として幅二十間の坂道約18本

の計画等、街の様子が一変し近代都市に変わっていくのがこの頃です。江戸と同じで大火の度に人・物・金の出入りが堅調に右肩上がり、商売繁盛絶頂期の時代がやってきます。豊漁景気で網問屋秦家も上昇一途でありました。大漁報告がてらやってくる船主や若衆をもてなす秦家の美人姉妹。三女の冬さんも三平汁、イカの塩辛、美味しい漬け物、祝い酒でもてなす接待係。明るく氣立ての良い美人三姉妹は船主、若衆から絶大な人気であったようです。箱館奉行に蔵書を買上げさせたのが勝海舟で、彼を支援した澁田利右衛門の家は没落しましたが、その息子が海舟から送ってきた蔵書で澁田文庫という貸本屋を営んでおり、本が大好きだった冬さんが入り浸っていたそうです。

東京以北繁華な街のど真ん中で育った冬さんは、文明開化に憧れ東京明治女学校へ。明治29年に卒業、小諸で英語教員をしていた藤村と明治32年1899新婚生活を迎えます。が、何不自由なく、東京より生活レベルが上であった函館での暮らしが、しかしらないお冬さん。しかし、大からか北海道の女性そのものの冬さんは小諸の山国で頑張りました。明治の知識人達はこぞって西洋科学の思想にかぶれ、藤村も畑作りに精を出すことで精神と肉体を新鮮にすべく「折角の土地だ、野菜を作ってみよう」と提案しますが、文明開化に憧れ東京の学問を学びた



小諸時代の藤村と島崎藤村夫人の冬子

いと北の港から東京の女学校に入  
学し、藤村の詩を愛しロマンの魅力  
にこがれて藤村に嫁いだ冬にとつ  
て百姓仕事はあまりにも過酷であ  
りました。水汲みと百姓仕事の明け  
暮れ、夫の強い要望で自然の中で地  
味に暮らす自給自足。次々に生まれ  
た3男4女を育て、夫のお客の相  
手、夫の一族への仕送りの金銭事情  
儉約生活の助けにと一時的に冬さ  
んも教員の職についています。自宅  
ができると習字塾を開き生徒から  
月謝の前借をする生活です。

冬さんは函館の父親から幾度か  
資金援助を受けています。儉約生活  
約7年。しかし、可愛い盛りの2歳、  
5歳、7歳の三人の娘が次々に栄  
養失調で死去、お冬さん自身も鳥目  
となります。函館代表のような大和

撫子も生活環境の激変、夫との「家」  
「兄弟孝行」（藤村は儉約生活をお冬  
に求め、実家に仕送りが当然とする）  
に対する認識の違い、長年の栄養不  
足、とうとう力尽き明治43年1910  
33歳の若さで命つきますのです。  
当時の秦家の実力、冬さんの経歴  
から父の思うとおり函館に帰り他  
の姉妹のように婿養子を迎えてい  
たなら立派な御内儀に収まってい  
たに違いない冬さんですが、敢えて  
苦難の道を歩み、命を縮めてしま  
いました。男は夢を追い、女は現実を  
強いられるのです。  
「資本金」を求め明治37年(1904)  
来函した藤村は当時の秦家の繁栄  
振りを実感したでしょう。そして茂  
辺地の葛登支岬にある  
秦家の別荘「寿楽園」  
へ訪れ歓迎の宴会が開  
かれました。国鉄当別  
駅を降り右トラピスト  
修道院、左秦家別荘。  
また冬子の姉浅子の夫  
で自ら寿翁と名乗った  
貞三郎のために書かれ  
た藤村の識文は児童文  
学家巖谷小波(1870-  
1933)の句碑を上にお  
せ台座に埋め込んであ  
ります。

私が廃園寸前の別荘  
を訪ねたとき、鬱蒼と  
した森の中の別荘は昭  
和29年1954洞爺丸台  
風で倒壊、コンクリー



の経済状  
況をみか  
ねて「香  
料」の名  
目で渡し  
たのでは  
ないかと  
しかし、  
後年藤村  
が有名に  
なると、  
これまでの  
の地元  
の地元の  
支援者や  
秦家とは  
疎遠にな  
っていく  
のです。

トの敷台の上に雨よけの簡易屋根  
をのせ、別荘をまもって三代目の古  
老が生い茂ってゆくクマ笹と戦っ  
ていて、昔話を聞くことが出来まし  
た。  
葛登支岬は大昔津軽海峡を守る  
砦であつたらしいこと、秦家全盛の  
頃のお花見は日本庭園に緋毛氈を  
敷き、紅白の幕を張り、岬下に鉄道  
列車を止め、湯の川温泉芸者衆を若  
衆が崖から担いで別荘に上げ、のの  
のんの賑やかな花見であつた  
と。  
父秦慶治の記録には明治44年  
1911、「お冬の一週忌に香料として  
180円(今に換算すると約45万円位  
か?)と記録が有り、おそらく藤村

箱館は幕末から公共港湾事業、海  
運・漁業の発展が連続し中央から政  
財界、外国人の往来が続きました。  
土方歳三、榎本武揚、伊藤博文(暗  
殺される2ヶ月前に韓国皇太子と  
共に来函)他に、多くの芸術家文人  
歌人、石川啄木、藤村、与謝野晶子  
等、スポンサーを求め函館を目指し  
たのです。揺るぎない経済力があつ  
た函館は教育熱も高まり女子教育  
が盛んになり、我が母校北海道庁立  
函館高等女学校が創設されていき  
ます。「千の風になつて」(大沼で作  
詞?現在も大沼在住)の新井満さん  
は元々啄木研究で来函、この春亡く  
なつたドナルド・キーンさんも啄木  
研究で来函されています。  
箱館・函館は「グルメ・夜景」だ  
けではないのであります。  
\*参考資料・「冬の家」森本貞  
子著(文芸春秋)

はこだて元町 志るこや菊



▲藤村の姉(中央)と、冬子(27歳)、  
三女縫子(1歳)、次女孝子(3歳)、長  
女緑(5歳)。明治37年11月3日撮影

## ◆寄稿

## 失われた青春の軌跡(3)

松田 守正 (2 回生)

《前号から続く》

さて、それからの20数年間の夫婦の苦闘は筆舌では尽くせぬ凄まじさ。妻は五反田の「公共職業安定所」に通い、仕事を見つけては町工場や商店で働き、手編み・機械編みの教員資格を活かしてこじんまりした教室を開いた。私は自宅に学習教室を開き3人の小学2年生から始めて3年後には小・中学生合わせて100名近くになり、他に教場を借りるまでになった。教える内容も学習よりも人間教育に推移していった。

四季を通じて「日帰り」や「夜行日帰り」の行程を組んで子供らと応援する父母共々山野に連れ出した。大自然と触れ合い地元の人々と交流することで視野が広がる。夏休みには27年連続で北海道・東北・中部・近畿の様々な処へ6〜12泊の日程を組み【ユースホテル・国民休暇村・国民宿舎・民宿・山小屋・公民館・クラブハウス・集会所・寺院・飯場】等を予約して、2泊ずつ泊まり移動した。

なかでも三陸海岸は『3・11東日本大震災』の被害者に災害の起こる前に北から南まで訪れ、地元の人

達との交流も深かった。子供たちの体験談は高い評価を受け、多くの賞に輝いた。そんな間にも意地悪な病魔がふたりを襲った。名水百選『栢田川湧水』のすぐ近くで育った妻は空気の汚れた大都会で「公害認定3級患者気管支喘息」と認定。何度となく救急搬送され、私も脳障害で休れた。

昭和33年長男を2度の流産のあとやつと出産したが、産後はしばらく「沼津国立病院」で静養した。昭和36年には大田区上池台の現在地を購入し住まいと教場を建てた。資金は6人もの父兄が身元保証人になってくれたおかげで、土地の信用金庫が無担保3年返済期限で貸し出してくれた。今のよう長期ローンがなかったため、返済にはフルブライト奨学金の返済も重なって命がけだった。折よく妻の喘息の状態が小康状態となった上に、東京在住の米国人家庭にメイドとして日中勤務の仕事が入り、息子の面倒を私と父兄のボランティアさんが見てくれることで何とか切り抜けた。

私どもが婚姻届の手続きをしたあと父に「ケツコンシタヨロシク」と電報で知らせたとき、返信を妻が私に手渡ししながら「義父さん喜んでくれたヨ！」まさか？ 見るとたった6文字「カンドウシタ」。ふたりして顔を見合わせ思わず噴き出してしまった、勘当を感動と。私どもに長男が授かった時、妻が内緒で父に知らせてあったのだろう。

2歳の誕生日を迎えた日、勘当されて以来一度も顔を見せなかった親父がひよっこ顔を出し、押し入れを開けて片付け始めた。びっくりし、「何してるの？」と問うと「今夜押し入れに泊めてくれ、食事は贅沢言わん、お前らと同じで良い」そう言うって質素な食事だったがお代わりして、嬉しそうに「うまい」と目を細めていた。食後、孫を膝の上を抱えてご満悦の様子に明治男の不器用さを垣間見た。

以来、親父が還暦過ぎて離婚したことも、67歳で自宅の玄関先で心筋梗塞を発症し誰にも看取られずに悶絶死したことも知らされなかった。そんな父の死を後に知り、函館の実行寺から本門寺の墓地に分骨した。我が家分家で菩提寺の池上本門寺に昭和47年墓を私が再興した。大富豪だった父の破産を知らなかった私は、長男が遺産放棄した財産の相続をしたため「負の遺産相続」となって父の借金を引き継いでしまい、大きな負担増を抱えた。

昭和54年大手予備校に就職した。一度サラリーマン生活を東京でしてみたかったのだ。平成元年定年退職。妻が気管支喘息の激しい発作と投薬の副作用で背骨全てを圧迫骨折し、車椅子生活になり、車椅子介護トリハビリ施設の送迎をしてもらい、ヘルパーさんのサービスを受ける。夫婦が一番幸福感を味わったのはこの時期だったのでは？ 車椅子を押して散歩、コンサートや観

劇、年末年始には都心の一流ホテルに宿泊・温泉にも連れて行った。仕事も自営に戻り「人間道場」を開いた頃から長年の念願だった失われた記憶の復活を始めることとした。

中学・高校時代の記憶を辿るには旧制函館中学第54期生・函館中部高校・函館西高校第2期生の集会に出席するのが早道だろう。早速同窓会それも東京で行われる機会でないとお席は難しい。函館西高つじヶ丘同窓会への出席と同校2回生の東京支部会(毎年)に極力参加を始めた。初めのうちはさながら浦島太郎のような違和感でしつくりと馴染めなかったが、回を重ねる毎に違和感は薄れ、隔年の同窓会で数多くの後輩たちとも親しくなれて、楽しい気分になれた。一方旧制函館中学校・函館中部高等学校白楊ヶ丘同窓会はグラントアーク半蔵門で毎年11月に開催される。中学校時代の友と会話も少しづつ歯車が噛み合うようになってはきたが、いろいろな記憶を取り戻せるのは何時のことになるのだろうか？

《完》

\* (まつだ・もりまさ)

現在は児童の心身教育のため寺小屋や子供道場などを開催し、ボランティア活動



を行っている。80歳を超えて作家デビュー。月刊「ねこ新聞」などで活躍。

## ◆ 投稿

「はこだて元町 志るこ屋菊」  
へ行って参りました

野口 孝子（24回生）

昨年のことなので、あの時の熱量とトーンでお伝え出来ないのが真に残ねーん!!です。でも、やはりお知らせしたくメールしました。

まず先に、事務所の皆様お忙しい中、会報を発行し送って頂きいつもありがとうございます。毎号、楽しみしております。  
その会報の載っている「函館ちよ



つぱり昔語り」毎回、その時代に思いを馳せ懐かしく時にじや哀しく拝見しております。その記事を寄稿してくださる方が元町辺りでお店を開いているとの事で常々お会いしたく、昨年ついに伺わせていただきました。前もって友人達にも今迄の記事のコピーを渡しておいて「そうそう!」とか「そうだったの?」と盛り上がり、連日楽しくワイガヤとさせてもらいました。

函館の生き字引か語り部のような方で素敵なお人柄(まさに菊スタイル)と味のあるお店ですっかりファンになってしまいました。

還暦を過ぎ少し疲れた精神状態の私たちは、8期先輩の空気感にちよつと刺激されましたね。お話を伺っていたら内容は長くなるので割愛しますが、亡き祖父より聞いた記憶の点と点が繋がったり、不思議に思っていたことがほどこけたりの時でした。

もちろん、お汁粉のおいしさといたら・・・少し品がないかなと思いつつお汁粉に目がない私は大盛りを注文し(メニューには確かに有り)「こんな人初めて」と笑われましたね。五月に帰る予定なので、またお店におじゃま出来るのが今から楽しみです。

皆様、帰函の際には是非ともお勧めです。お休みが不定期のようなのでご注意を!!

菊さんFC. 末席

作家・佐藤泰志(18回生)原作映画  
第4弾「きみの鳥はうたえる」  
ヒットで続くブーム

井田 ゆき子（20回生）

作家・佐藤泰志(18回生)の小説の映画化4作目「きみの鳥はうたえる」が昨秋9月1日に全国公開され、ロングラン上映されるヒット作となった。さらに、「毎日映画コンク

ール」の主演男優賞、音楽賞をはじめ、「キネマ旬報ベスト・テン」の主演男優賞、日本映画ベストテン第3位、辛口で知られる雑誌「映画芸術」の日本映画ベストテン1位など、数々の映画賞を受賞している。

また、今年2月に行なわれたベルリン国際映画祭のフォーラム部門の出品作にも選ばれた。ベルリン国際映画祭は、カンヌ国際映画祭、ベネチア国際映画祭と並ぶ、世界三大映画祭のひとつ。ベルリンでは4回上映され、エンドロールが流れ始めると観客から拍手と歓声がわき起こったほど好評だったという。

佐藤泰志が亡くなって28年になる。2010年、公開された原作映画「海炭市叙景」のヒットによって、それまで絶版となっていた佐藤泰志の小説のほとんどが再刊され、作家としての再評価も進んだ。

今年1月25日には、「そのみに

て光輝く」が中国語に翻訳され、中国で出版。初めての海外進出作となった。ちなみに、小説と同名の映画は2014年に制作され、モントリオール世界映画祭で最優秀監督賞(呉美保監督)を受賞している。

佐藤泰志は生前、芥川賞を5度も落選し、賞には縁がなく、不遇のうちに自死してしまった。しかし、原作映画は、皮肉なことにごとく受賞の栄に浴している。

それは、佐藤泰志が魂を削るよう書き続けた世界が、今になってようやくやく認められているからに違いない。彼の小説には、地道に生きる普通の人々の人生の喜びや悲しみがすくいとられている。それを丁寧

に大切に描いてきたのが作家・佐藤泰志の魅力ではないだろうか。  
これまで4作品の企画・制作を手がけてきた菅原和博氏には、すでに5作目の企画もあるという。佐藤泰志ブームはまだまだ続きそうだ。



▶ 今年1月に中国で出版された「そのみにて光輝く」



【平成30年度 つゝじヶ丘同窓会東京支部 会計報告】

自 平成30年 1月 1日  
至 平成30年 12月 31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰入金	2,911,647	同期会補助金	40,000
年会費(振込) 454件	857,860	交流費	80,000
年会費(現金) 48件	96,000	旅費交通費	80,000
本部補助金	30,000	会議費	20,500
預金利息	22	通信費	195,477
		事務費	15,491
		会報関連費	306,096
		印刷費	33,682
		事務局費	120,000
		HP関連費	150,000
収入計	983,882	支出計	1,041,246
合計	3,895,529	次期繰越金	2,854,283
		合計	3,895,529

【繰越金内訳】

前日本郵政 2,810,959円  
現金 43,324円  
合計 2,854,283円

以上会計事項について監査の結果、適正に処理されているものと認めます。

平成31年1月20日

会計監査 13回生 森 加代子

事務局活動報告

事務局長 斉藤 勝美 (13回生)

(平成30年12月～31年4月)  
○12月1日 会報21号発送作業。  
○12月16日 事務局忘年会。  
○12月26日 椿山荘で総会打合せ。  
○1月26日 2月学年幹事会、会報22号、次期役員改選、恩師への

に、4月より陵北との合併による新設校が開校となりましたが、西高の校名は存続となり、嬉しいスタートとなりみな喜んでおります。吉田先生も持病を抱えていらつしやるにもかわらず、足を運んで頂き改めて感謝申し上げます。  
楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、お開きとなりましたが、次の再会を楽しみにそれぞれの家路を辿っていきましました。(野口卓史)

旅費援助額の件等を討議。

○1月30日 返信葉書郵便局申込。  
○2月9日 学年幹事会開催も大雪のため急遽中止とし、書類会議として議案送付。

○3月2日 18回総会案内状発送作業。総会準備日程決定。

○4月14日 会報22号編集会議、総会手順・受付等を決定。

●学年幹事会で決定された新役員(常任幹事)

会長 折田信一(18)  
副会長 佐藤雅英(18)、高村亨(20)  
学年幹事会幹事長 長谷川好広(32)  
副幹事長 熊谷真弓(29)

【事務局】

事務局長 安原秀樹(18)  
会計 小林多美(24)  
会計監査 森加代子(13)  
書記 井田幸子(20)  
総務部長 青木保(21)  
総務担当 洞田雅子(14)、平智則

(21)、石馬場裕子(35)  
広報部長 井田ゆき子(20)  
広報担当 野口卓史(27)、山越准司(32)

顧問 齋藤勝美(13)、三村寿雄(13)、佐々木太郎(14)、堀内洋子(14)、若林郁雄(14)、高橋順吉(17)、竹澤秀明(17)

物故会員

平成31年3月末までに事務局へご連絡を頂いた物故された会員です。ご冥福をお祈りいたします。

矢幅光子(高女33)、畠山トモ(高女35)、本多知子(高女36)、木村知子(高女39)、高瀬日出子(高女40)、神保和子(高女40)、栗村織江(高女40)、鈴木みはる(高女40)、相馬洋子(高女41)、山田英子(西高1)、及川博(1)、打田達泰(1)、菅原靖(1)、三上邦男(2)、八島健之助(2)、笠島賢(3)、高橋宏爾(4)、高橋秀夫(4)、瀬賀浩二(6)、東口忠功(6)、川崎庄司(6)、早坂白嶺(7)、丸山正彦(8)、二関龍子(9)、小山捷平(10)、桐谷郁子(10)、桜井洋子(11)、時田律子(13)、塚本繁(16)、真田秀樹(20)。

会員の皆様にお願ひ

東京支部活動の充実のために年会費(2千円)納入にご協力を

会計報告にありますように、同窓会は年会費と総会・懇親会会費で運営されています。同窓会活動を今後とも維持・活性化していくために、会員の皆様のご支援を宜しくお願ひ申し上げます。

★学年幹事の皆様へ

総会・懇親会に7名以上出席した回生が二次会(同期会)を行う場合、1万円を補助します。学年幹事長または事務局までお申し出ください。

これとは別に同期会の活性化を目的として、同期会開催に年1回5千円の補助をしております。補助の申請書フォームは東京支部ホームページからダウンロードしてください。(何方も「開催報告」をHPに掲載することが条件です)

第18回総会・懇親会の反省会を兼ねた学年幹事会を7月6日(土)15時より、江東区東大島文化センターで開催いたします。

《編集後記》

○今回の総会特別号は、新元号に伴う10連休の影響でタイトなスケジュールになりましたが、皆様の協力で発行が出来ました。有難う御座いました。  
○「平成」から「令和」へ代替わりのタイミングで、東京支部執行部も世代交代しました。長年中核を担ってきた堀内さん・高橋さん、佐々木執行部の役員の皆様、ご苦勞様でした。

○現在の東京支部会員は「昭和」世代で、「戦争」の影響を諸々受けた方が多いと思います。平成天皇が「平成の時代は、戦争は無かった」と語られたことが一番印象に残ります。

○会報の編集体制も次号発行の中で漸次引き継いでいきます。宜しくお願ひします。(若林郁雄14回生)